

テレビ大阪株式会社 相方清隆 編集局長

池上彰の世界を知れば大阪が変わるニュースショー 番組ご担当者様

平素のご高配誠にありがとうございます。貴社いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般貴放送局において、「大阪都構想」について池上彰氏による分かりやすい解説をして頂く番組が放送されると聞いております。

大阪都構想の話は制度論であり十分な時間をかけなければ説明を尽くすことができない中、多くの住民の皆さんが大阪都構想について分からないと感じている状況であり、このような放送をして頂けることは、来る住民投票において住民の皆さんが判断するにあたり大変有意義なことだと思います。

ただし以下のとおりの懸念もありますので放送にあたりご留意頂けましたら幸いです。

大阪都構想が大阪の政治課題に上がってから5年間、大阪都構想のメリット・デメリットという争点設定で論じられ続けました。

しかし大阪都構想は現在の大阪府・市の課題への解決策の一つであり、本来であればそれぞれの解決策を比較し、どちらの方がより良いのかを判断してもらわなければなりません。

これまでのメディアでの論調を見ますと、大阪都構想についての問題点について論じ合う形になっています。しかしこの点は双方言い分が食い違い、どこまでいっても最後は見解の相違になってしまいます。

有権者に判断して頂くのは、大阪都構想の問題点についての食い違いだけではなく、本来は大阪府・市の課題解決策として何が相応しいのかです。

先日、MBS・VOICEにおいて橋下大阪維新の会代表と柳本自民党市議団幹事長が討論を行いました。これは大変有意義なものだったのですが、あくまでも大阪都構想に投げかけられている問題点を中心に論じる形でした。

本来は、大阪都構想と、大阪調整会議そして総合区制度（改正自治法に基づくものであり自民党市議団の主張）を比較してそれぞれの問題点を論じる形にしなければ、有権者としては適切な選択ができないはずです。

そもそも大阪都構想のメリットとして上げられる効果額の話は、大阪都構想のメリットを矮小化しています。

大阪都構想は、現在の大阪府・市の課題の解決策です。そうであれば、現在の大阪府・市の問題点こそが大阪都構想のメリットなのです。さらに大阪都構想に内在する問題点について論じると同様に、大阪調整会議・総合区制度に内在する問題点も論じ合わなければなりません。

まず現在の大阪府、市にどのような問題があるのか。

二重行政、二元行政（大阪府・市の政策がバラバラ）、住民自治不足（260万人の住民

に市長一人しかいない問題点)の問題点を明確にして頂いたのち、ではその解決策として何があるのか。

大阪都構想について説明が不十分という人が大変多いのが現実です。我々政治行政に携わっている者、そして府政・市政記者や有識者が持っている前提事実を住民の皆さんは持ち合わせておりません。

いきなり効果額だ、税が奪われるという議論をしても全く付いてきてくれないでしょう。大阪都構想という解決策が出された背景からの解説をぜひお願いしたいところです。

これが現在の大阪府・市に内在する課題の深堀になります。そして解決策を提示しない公明・民主・共産への指摘になります。

府市の二重行政、二元行政。

これはなぜ起きると大阪維新の会は考えたのか。

狭い大阪府域内に知事(大阪府庁)、大阪市長(大阪市役所)の存在。

広域行政では重なりあり、財政力もほぼ同じ。

このことで二重行政、二元行政が起きると考え、大阪都構想では知事に一本化。

これに対して自民党の大阪会議。

住民自治の不足。

260万人の有権者に市長一人の不都合性。

この解決策として大阪都構想は5人の公選区長。

自民党は総合区制度。

公明・民主・共産は解決策なし。

この状況を明らかにして頂くことが議論の出発です。

大阪維新の会は「大阪都構想」であり、自民党は「大阪会議+総合区制度」です。

その他の党は、解決策を示していません。そうであれば、自民党以外の野党には解決策がないことをはっきりと伝えてもらわなければなりません。

その上で、「大阪都構想」と「大阪会議+総合区制度」の説明と問題点の比較をして頂ければ公平な解説とはなりません。

現在、大阪都構想のメリット・デメリットの比較となっております。これは大阪都構想の問題点を深堀しているに過ぎません。

そもそも現在の大阪府・市の体制の問題点も同じように深堀するところからスタートです。これは解決策を何も持ち合わせていない、公明・民主・共産への問題点の指摘です。これがいつも抜けるので公明・民主・共産は大阪都構想への批判をすることだけで許されてしまうのです。

また、自民党の「大阪会議」(話し合い)、「総合区制度」(政令市はどこも採用予定なし、具体的な制度の中身については何も決まっていない)についても問題点を深堀すべきです。大阪都構想は現在の大阪府・市に存在する課題の解決策として提案したものです。社会制度ですから問題点を指摘しようとするればいくらでもできます。そしてこれまでは、大阪維

新の会はそれに反論するだけでした。

本来であれば、①大阪都構想、②大阪会議＋総合区制度、③現在の大阪府・市のまま、を並べてそれぞれのメリット、デメリットを論じる形にすべきです。③の問題点は、大阪都構想が出てきた背景で論じられるところでしょうが。

大阪都構想の問題点はこの5年間、大いに論じられてきました。

ところが現在の大阪府・市の問題点、そして自民党の大阪会議・総合区制度の問題点はほとんど論じられていません。

貴放送局の番組におかれましては、来る住民投票に向け、有権者が適切に判断できるよう公平・適切な大阪都構想の解説をして頂きますことを期待しております。

平成27年2月16日

大阪維新の会 幹事長 松井一郎